

はかた中だより

第2号

令和2年6月10日

校訓 「自らが学ぶ」

学校の教育目標

「豊かな心を持ち、

主体的に行動する生徒の育成」

TEL: (0897) 72-1055

FAX (0897) 72-1053

<学校が再開しました！>

4月21日(火)から始まった「34日間」の臨時休業が終了し、5月25日(月)から、いつもの学校生活が戻ってきました。生徒たちは、友達と会うことを非常に楽しみにしていたようで、教室には笑顔があふれていました。

しかし、新型コロナウイルス感染防止対策として、次の3項目は、引き続き実施しますので、ご理解とご協力をお願いします。教員も暑い中、「フェイスシールド」を着用して授業を行っています。

- ①朝の検温による体調の確認をしています。
- ②食事の時以外はマスクの着用・咳エチケットをしています。
- ③ことあるごとに手洗い・指先の消毒をしています。

★ 学校再開後の授業の進め方について

本校では、臨時休業中の学習の遅れを挽回するために、「**特別時間割**」で、授業を行っています。(毎週火曜日と金曜日は、7時間授業を実施しています。)今治市内の中学校においては、1学期末ごろまで(各中学校の現状によって期間は異なります)は、授業で5教科(国語・数学・理科・社会・英語)を優先して実施しています。理由は、次のとおりです。文部科学省から出された「教育活動の再開等に関するQ&A」の「問35」には、次のことが書かれています。(5月13日時点)

- (問35) 各教科等の指導において、感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高いため実施することができない学習活動についてはどのようなものがあるか。
- 各教科等の指導について、以下に掲げるものなど感染症対策を講じてもなお感染の可能性が高い学習活動については、当分の間、これを行わないようにしてください。
- ・ 音楽科における狭い空間や密閉状態での歌唱指導や身体の接触を伴う活動
 - ・ 家庭科、技術・家庭科における調理等の実習
 - ・ 体育科、保健体育科における児童生徒が密集する運動や児童生徒が近距離で組み合わせたり接触したりする場面が多い運動
 - ・ 児童生徒が密集して長時間活動するグループ学習
 - ・ 運動会や文化祭、学習発表会、修学旅行など児童生徒が密集して長時間活動する学校行事

そこで、学校再開からの1学期間は、4教科(保健・体育科、美術科、技術・家庭科、音楽科)の授業時数を減らし、比較的指導可能な国語科、社会科、数学科、理科、外国語科の教科を優先的に授業を進める、ということにしました。

なお、4教科(保健・体育科、美術科、技術・家庭科、音楽科)につきましても、2学期以降に状況が落ち着けば、授業時数を確保する予定ですので、ご了承くださいますようお願いいたします。

★ 学校再開後の部活動の実施方法について

部活動も再開されておりますが、愛媛県教育委員会が出している「新型コロナウイルス感染症対策に係る学校管理上の留意点(令和2年5月21日現在)」の中にある、次の「部活動における段階的イメージ」に従って、活動の幅を徐々に広げています。

★ステップ1 (5/25~6/7)

- 身体に過度な負担をかける活動を避け、けがの防止に努める。
- 個人スキルの習得に努め、接触を伴わない活動を行う。(2名以上の対人は禁止)

★ステップ2 (6/8~6/21)

- 接触を伴う活動を行うことができる。
- 自チーム内での試合形式での活動等、実践的活動を行うことができる。
(他校との合同練習や練習試合は禁止)

★ステップ3 (6/22~)

- 学校長の許可のもと、他校との合同練習や練習試合を行うことができる。
- ※ 各部の3年生が行う最後の交流試合以降から行えます。

※ 3年生にとって最後の交流試合や発表の場につきましては、各部の顧問が説明したとおり実施していく予定です。

<令和2年度「社会を明るくする運動非行犯罪防止標語」の優秀賞>

7月は、「社会を明るくする運動」の強調月間です。それに向けて、2年生は、日常生活や学校の中で体験したことをもとに、非行や犯罪防止等に向けて標語をつくりました。

優秀賞に選ばれた5名は、5月26日(火)の朝の会で、保護司の馬越さんから表彰されました。優秀賞に選ばれた作品は、次のとおりです。

- | | | |
|----------------------|------|----------|
| ○ 一人には しないさせない 助け合おう | 2年A組 | 阿部 彩音 さん |
| ○ 一人より みんなで解決 悩み事 | 〃 | 馬越 海 さん |
| ○ 仲良しの 秘訣は一言 ありがとう | 〃 | 村上 郁寧 さん |
| ○ あいさつは 笑顔をつくる エネルギー | 〃 | 村上 颯太 さん |
| ○ どうしたの その一言が だれかを救う | 〃 | 山岡 春陽 さん |

<「ようこそ先輩!」の授業> 6月8日(月) 4校時

この日は、3年生全員が、伯方分校から本校の卒業生2名の先輩を招いて、伯方分校の活動をとおした「高校生活」についての説明を聴きました。

伯方分校の紹介

やった!できた!を実現するための柱として、

- きめの細かい教育課程 → コースが細分化されている。進路に応じた教育が受けられる。
- 特色ある部活動 → 文化部(俳句甲子園全国大会など)、運動部の活躍。
- 特色ある学校行事 → サイクリングイベントなど。やりたい自分が見つけられる。



体育館の大型スクリーンを使っての説明に、3年生は熱心に聴き入っていました。

その後の質問では、「中学校と高校とのちがいは?」「中学校で、どんなことを頑張



っていたらよいのか?」「どんな勉強をすればよいのか?」などの質問がありました。二人の先輩たちは、一つ一つ、自分たちの体験を交えて答えてくれました。最後には、先輩からの熱いメッセージが、3年生全員に語られました。

3年生にとって、より現実的に、自分の進路を考えるよい機会になったのではないのでしょうか。

